

# 鐘の音

Kane-no-ne

vol.28  
2012.11 発行



▲ビー玉を使った万華鏡作りを通して、目と脳の不思議な関係を体験しました。  
(8/23～25実施「夏休み おもしろ科学実験&講演」より)

## 特集 小さなことでも、相談してみませんか？

～女性の悩み相談のご案内～	2
●女性の悩み相談 相談室から	3
●セミナーレポート	4
●ただいま活動中「浦和育友会」	4
●コ・ラ・ム 数字	5
●Book Navi 図書のご案内	5
●施設・相談のご案内/ほっとたいむ	6

# 小さなことでも、 相談してみませんか？

## ～女性の悩み相談のご案内～

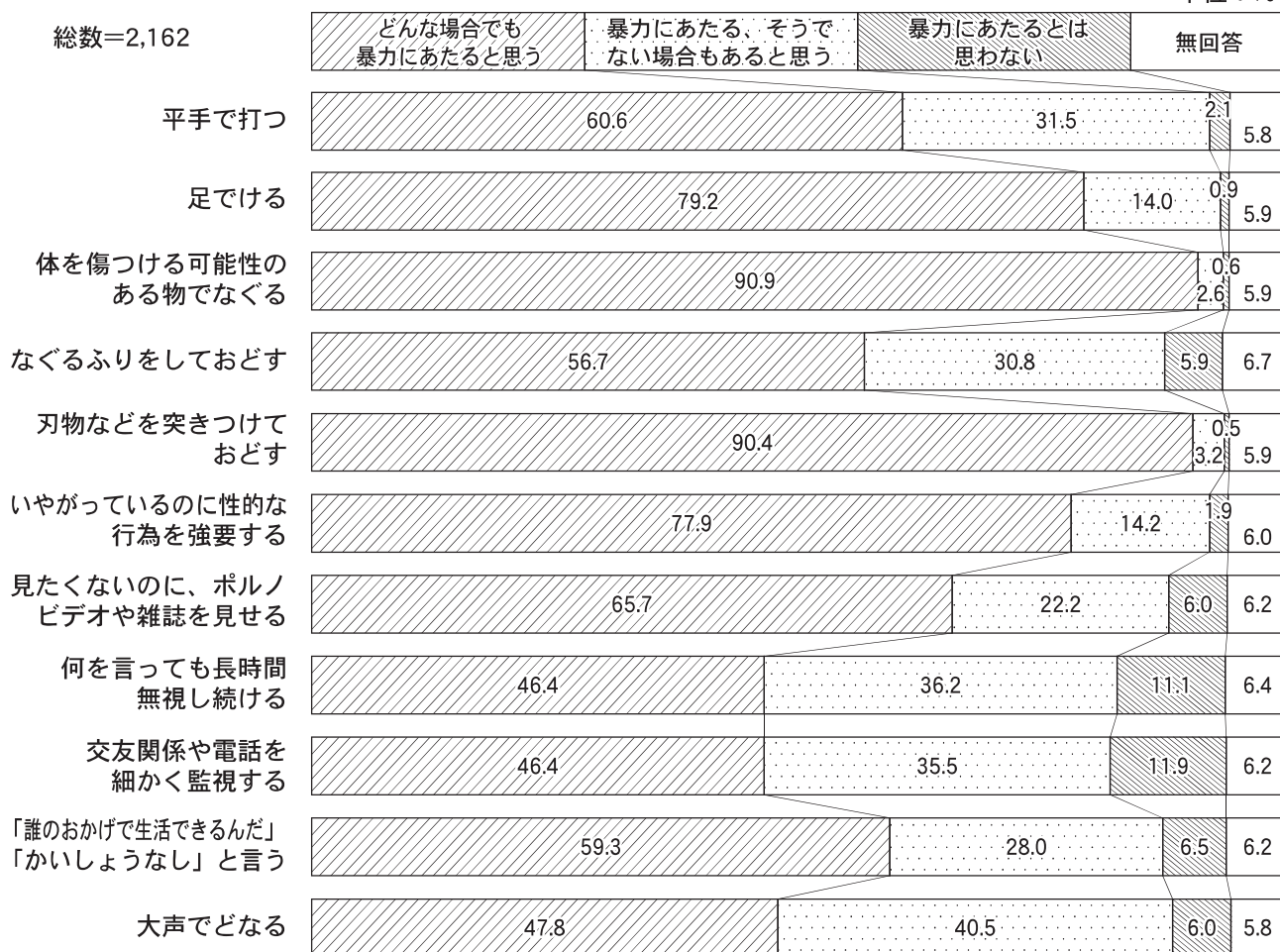
さいたま市では、男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、今後の施策展開の基礎資料とするために、平成23年度に『男女共同参画に関する市民意識調査』を実施しました。市のホームページに報告書を掲載していますので、ご覧ください。

その中で、配偶者などからの暴力について、「暴力として認識される行為」についての設問があります。

Q. あなたは、次のようなことが配偶者などの間で行われた場合、それを暴力だと思えますか？

単位：%

総数=2,162



暴力として認識される行為

### 様々な暴力のカタチ・・・

- ◆身体的暴力：殴ったり、蹴ったりする。物を投げつける。髪を引っ張る。
- ◆精神的暴力：大声でどなる。何を言っても無視する。外出を制限したり、行動を細かく監視する。
- ◆性的暴力：嫌がっているのに性行為を強要する。見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる。
- ◆経済的暴力：生活費を渡さない。「誰のおかげで食えるんだ」と言う。外で働くなと言う。

さいたま市では、配偶者や恋人からの暴力（DV）だけでなく、女性が抱える様々な悩みの解決に向け、専門の女性相談員が対応しています。

相談は無料、秘密は厳守します。悩みを一人で抱えこまずに、一度相談してみませんか？  
詳しい実施日時など、詳細は裏表紙をご覧ください。

## ● 女性の悩み電話相談

婦人相談員が電話で悩みを伺います。匿名ですので、小さな悩みでも安心してご相談ください。1回あたりの目安は30分です。

**主な相談内容：家庭内のトラブル、夫・恋人からの暴力（DV）、職場の人間関係**

- 夫・交際相手から、「どこに行くの？」「今日は何をしていた？」など、行動をチェックされて、疲れる・・・。
- ママ友やご近所の方との会話にストレスを感じる・・・。
- 夫婦関係になんとなく違和感があるけど、なぜかしら・・・。

## ● 女性のための法律相談（予約制）

女性の弁護士が、面接して相談を伺います。1人あたり30分、年度に1回のご利用となります。

**主な相談内容：離婚、子供の認知・相続、借金、DV、セクシャル・ハラスメント**

- 職場でのセクハラに困っている。何か法的な対処法はありますか？
- 離婚を考えているけど、調停・親権・財産分与・・・、どうしたらいいの？

## ● 女性のための心の健康相談（予約制）

女性の医師が、面接して相談を行います。1人あたり45分、年度に1回のご利用となります。

**主な相談内容：女性の様々な問題から生じる心の悩み**

- 子どもが引きこもってしまい、どう接したらいいのかわからない。
- 何もやる気が起きず、気分がふさぐ。

# 女性の悩み相談 相談室から

ある時、DVに悩んできた友人が、自身の経験について、いろいろと話してくれました。

- ・隣の部屋から、「ちえっ」という舌打ちが聞こえた。びくっとして思わず聞こえた方を向いてしまう・・・。
- ・街中で後ろから声をかけられ、振り返ると、声をかけた相手のびっくりした顔。「どうしたの？」と聞かれた。振り向いた顔が、異様にこわばっていたようだった・・・。

その友人は相談できる場所を見つけ、体調も回復し、今では様々な活動をしています。

お電話では、限られた時間ですが、いろいろと伺いながら、どんな事が出来るのか一緒に考えていきたいと思っています。夫婦やパートナーのこと、子ども、友人、職場のこと、ご近所のこと、日頃ちょっと気になったこと等々。お電話をお待ちしております。  
(相談員P)

# セミナーレポート

パートナーシップさいたま（大宮区）と女・男プラザ（緑区）で実施したセミナーをご報告します

## 夏休み おもしろ科学実験&講演（女・男プラザ）

理工系女子を育成するため、小中学生の女子を対象に、牛乳パックを使ってカメラを作成する実験や、埼玉大学工学部の先生による講演を行いました。

★参加者の感想文から・・・

### 第1回 光と虫めがね（8/23）

・本当にできるの？って思うことがいっぱいあったけど、やってみるとできることがわかりました。特に月の光を集めると月の形になるっていうのがすごく面白かったです。また家でやってみたいと思います。

### 第2回 光と目と脳（8/24）

・万華鏡をお父さんと一緒に作ったり、反射について学んだりできて、とても楽しかったです。前よりも科学が好きになりました。



## 世界に向き合う女性たち （パートナーシップさいたま）

「平等・開発・平和」への貢献につながる活動をしているグループのお話を聞き、国際交流の認識を深めました。

### 第1回 異文化コミュニケーションの難しさはどうしてなんだろう（9/26）

現在、会員は男性2名を含め、18名です（当時の2分の1になりました）。毎月1回の研修日を設け、コミュニケーションに花を咲かせています。会員一人ひとりが地域に戻り、活動の輪を広げています。各区民祭り、公民館、子ども会、男女共同参画推進団体に参加、市民活動サポーター会として主催事業にも参加、毎月の研修ではゲーム、マジックパルーン、折り紙などで活動をしています。私たちの活動に興味がある方は、ぜひチェックしてください。

会長 山口 甫江



▲研修会にて

参加者は約20名。女性8：男性2の比率でした。セミナーは3～4名のグループ分けの後、討議形式で進められました。いわゆる「多文化共生社会」について具体的な事例を通して、われわれの身の回りの外国人との関係が紹介されました。わが国の少子高齢化の中で、外国人労働者の流入や結婚のために来日する外国人をどう位置付け、どう共生していくか今後大きな問題になりそうですが、互いの文化的な違いを認め合い、いかに共生していくかが大切なようです。

今回のセミナーは参加者どうしの討議の形で進められたため、参画意識が高まって皆さんの目が輝き、知的な関心が高められたセミナーでした。（古瀬和夫）

## 女性カレッジ2012 （パートナーシップさいたま）

女性としての立場を見つめなおし、一人ひとりの女性の人生が、過去の女性から受け継がれてきたものの延長線上にあることを再確認しました。

★参加者の感想文から・・・

### 第1回 学ぶ意味・参加する想いをシェアしよう（9/27）

・自分の好きなもの、嫌いなものがぱっと言えないくらい子育てに没頭しているのだと気付いた。



### 第2回 古代・中世・近世の女性通史（10/4）

・“主人”という何気なく使っている言葉に抵抗を感じたので、“夫”と呼ぶように改めたい。

## ただいま活動中 「浦和育友会」

男女共同参画を目的に活動しているグループを紹介します

浦和育友会は、旧浦和市青少年課で、1年目に学習10回、2年目には実技10回の研修を終えて発足しました。当時は研修を受けるにも、PTA、青少年育成会、自治会等の推薦が必要でした。成長したりリーダーたちが活動をはじめたのが、ボランティア活動です。

今年活動30年にあたり、ますますボランティアの必要性を感じながら、乳児から高齢者（老人ホーム）までに目を向けて活動しています。





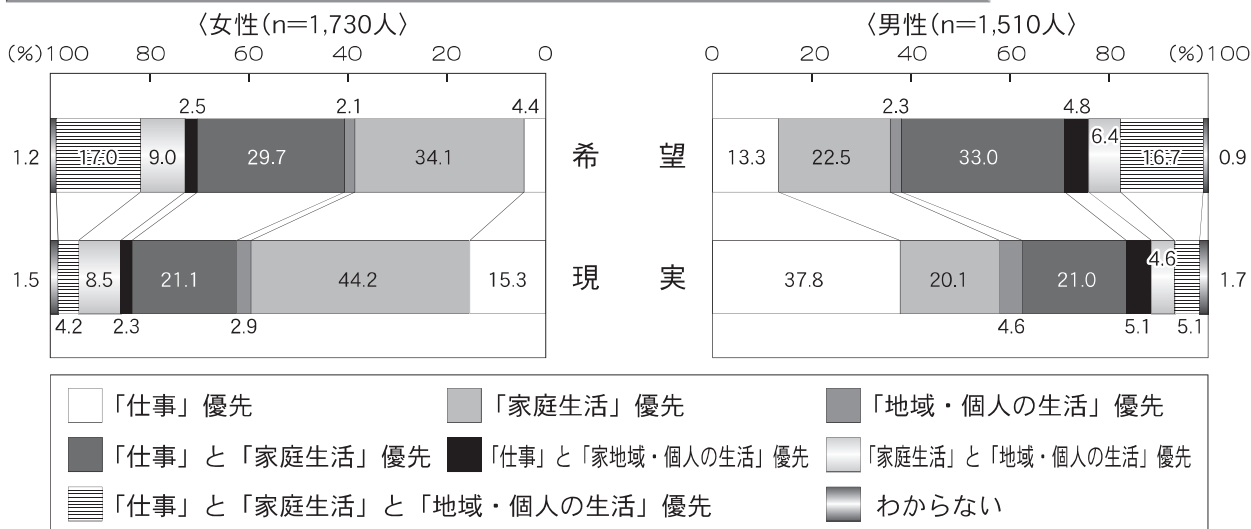
# 37.8%



この数字は、生活の中で「仕事」を優先している男性の割合です。「仕事」優先の生活を希望した方は13.3%でしたが、現実としては37.8%が「家庭生活」や「地域・個人の生活」、「仕事」と「家庭生活」の両立よりも、「仕事」優先の生活をしているようです。

ワーク・ライフ・バランスの推進のため、パートナーシップさいたまでも『男性カレッジ（1月実施予定）』や事業所への出前講座など、啓発事業を実施しています。

### 第1-4-2図 仕事と生活の調和に関する希望と現実（男女別）



(備考) 1. 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成21年）より作成。  
 2. 「生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。」への回答。

平成24年度版「男女共同参画白書」より（内閣府）

## BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

### 『知らないと恥ずかしい ジェンダー入門』

加藤 秀一 著 2006年 〈朝日新聞出版〉

本書はジェンダー入門書ですが、入門書のイメージを超えた高度な内容だと思いました。

私がジェンダーの言葉を知ったのは最近です。ジェンダー論は私の固定観念を打ち砕きました。

本書にはジェンダー論がわかりやすく書かれています。7つの章から構成され、ジェンダーとは何か、ジェンダーは何を訴えているのか、性別とは何か、男とは、女とは、女らしくとは、性同一性障害、同性愛、ジェンダーに対するバッシング。

ジェンダーは社会的文化的に作られた性差別です。現代社会にある男女差別、集団から集団に対する差別がジェンダー論により浮上しました。ジェンダーへのバッシング、偏見もあるようですが今後の社会を変えていく上でジェンダー論は重要な考え方であると思います。しかし奥深く永遠の課題であると痛感しました。  
(桜井 由美子)

### 『妻と別れたい男たち』

三浦 展 著 2012年 〈集英社〉

「離婚したい男」40%、「別居したい男」33%。その「願望」は、どこから来るのか？ この本は「離婚のススメ」や「離婚マニュアル」ではない。実際に別れるかどうかはともかく、ふと「別れたい」「ひとりになりたい」と思ってしまう男の心象にフォーカスした社会分析である。

男性は、単に男性的に生きたいから離婚したいのではないし、離婚するのでもない。むしろ反対に、男性原理社会、すなわち、仕事ばかりの人生とか、収入や社会的地位が男性を測る基準になっている社会に対する違和感があり、そこから抜け出したいからこそ、離婚をしたいと思ひ、離婚をするのであり、また主夫になりたいと思う。

「離婚したいと思ひやすい夫はこんな人」  
 ・自分の学歴が高卒以下、自分の職業が自由業、自営業  
 ・妻が結婚出産後も継続して働いている、妻が自由業、自営業  
 夫、妻がそれぞれに『男性化』している社会では、共存型社会が崩壊に至る。この男性化社会とは、なにが問題か考えさせられます。  
(五十嵐 一樹)

## 施設のご案内

### パートナーシップ さいたま

### ひと ひと 女・男プラザ

場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館時間	平日 9:00～21:00 土・日・祝日 9:00～17:00	9:00～17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始

#### 施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。  
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと  
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

#### 情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。  
閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用できる  
交流コーナーもあります。

お問い合わせ **048-642-8107** (パートナー) **048-875-9966**

## 相談のご案内

### ●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金/10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水/10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水/10:00～17:00	

### ●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00～15:30	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00～15:30	

### ●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4金曜日/13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

## ほっとたいむ



今年から自治会の役員になりました。定年後、暇そうにしていたので、狙われたようです。クリーンキャンペーン、夏祭り、盆踊り、防災訓練など、地域のイベントは多々あります。そのリーダーシップをとるのは地域の長老たち。そして、参加するのはおおむね主婦のみなさんです。子どもの参加は少なく、父親の姿は見えません。少子高齢化が如実に表れているのが地域活動といえそうです。

地域の活性化、地域文化の継承などが叫ばれますが、働き盛りのお父さん方の参画が待望されています。でしやばると役員にさせられるからとか、ケチな考えは捨てて地域のイベントに参加してみてください。きつと、お子さんとの絆が強まり、感動につながる出会いもあると確信いたします。

(古瀬 和夫)

埼玉県男女共生団体連絡協議会に参加していましたが、平成23年度から諸般の事情で引退させていただきました。この協議会では年一回の移動理事会の開催が恒例で、今年は5月に秩父市で開催され、OBとして誘われ、参加しました。

当日の日程は、理事会と「山叶本舗(障がい者福祉施設)」ほか、2箇所の見学コースでした。

この施設は梅の収穫から商品化まで、能力に合った作業訓練をし、所員の自立を支援しています。入口のところに、所員のレクリエーション用らしい和太鼓が6張りありました。ちょうど昼休みだったので、責任者らしい女性が太鼓打ちを督励して、見学者へ歓迎の演奏を始めました。熱烈な演奏でした。

このときの女性指導員の熱意には大きな感銘を受けました。

(武藤 勝美)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで  
お願いします。

《誌名「鐘の音」》  
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。  
パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.28 2012年11月25日発行  
＜編集・発行＞  
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)  
編集員/五十嵐一樹・猪股恵子・桜井由美子・古瀬和夫・武藤勝美  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

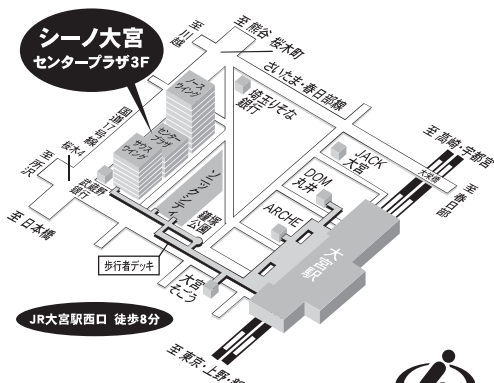
◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は17.2円です。



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市